

令和4年度（小学校）出張出前授業の実績とその傾向

1 令和4年度出前授業等の実績一覧

申込み学校名	題 材	実施日	参加人数	学級数
①幕張小学校3年	いも神様 青木昆陽 相当	7/13	69名	3学級
②越智小学校6年	千葉常胤と源頼朝	9/15	25名	1学級
③越智小学校6年	鎌倉武士の戦い方	9/16	25名	1学級
④越智小学校4年	令和元年度の台風被害	9/21	13名	1学級
⑤北貝塚小学校3年	いも神様 青木昆陽	10/13・19	150名	5学級
⑥小中台南小学校4年	令和元年度の台風被害	11/1	85名	3学級
⑦寒川小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	11/16	90名	3学級
⑧柏井小学校年4年	水害と戦う染谷源右衛門 (90分)	11/29	10名	1学級
⑨稲丘小学校4年	水害と戦う染谷源右衛門	12/6	82名	3学級
⑩横戸小学校4年	水害と戦う染谷源右衛門	12/8	23名	1学級
⑪北貝塚小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	12/13・15	150名	5学級
⑫平山小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	1/19	82名	3学級
⑬越智小学校3年	もっと私たちに近かった海 (埋め立て)	1/24	22名	1学級
⑭越智小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	1/26	22名	1学級
⑮横戸小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	2/7	21名	1学級
⑯稲丘小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	2/16	82名	3学級
⑰千城台わかば小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	3/2	70名	3学級
⑱高浜第一小学校3年4年 (2学年合同)	水害と戦う染谷源右衛門	3/7	24名	2学級
集計 学校数 11校 学年数 20学年	授業実施題材数 7題材 (HP公開題材数・・12題材)	授業実施 日数 20日	累計児童 数 1045名	実施学級 43学級

2 本年度の出前授業に対する学校の評価や感想

(1) 出前授業での**教師の評価** (授業後の教師のアンケートより)・・集計枚数24枚

◆今回の授業は「授業のねらいに迫れたものだったでしょうか。」

- ①非常に迫っていた (17枚 70%) ②迫っていた (7枚 30%)
③あまり迫っていなかった (0枚 0%) ④ほとんど迫っていなかった (0枚 0%)

○「**非常に迫っていた**」が**70%に達した**。児童の興味関心を引き付ける授業構成の工夫、指導案や博物館の資料を準備して現場の授業準備する負担の軽減、事前打合せを必ず行い現場の要望を吸い上げる等の配慮を行ったからではないかと考えられる。

◆「今後、出前授業を利用したいですか。」

- ①利用したい (24枚 100%) ②利用したくない (0枚 0%)

○本年度授業をさせていただいた**全ての学校が、次回も利用したいと希望していた**。当館の出前授業が、小学校現場の要望に合致していて、児童の学習に十分役に立っていることが分かった。

(2) 出前授業での**児童の満足度** (授業後の児童の振り返りカードより)・・抽出校3校 児童数合計212名

- ①とても楽しかった 役に立った (139名 66%) ②楽しかった 役に立った (56名 26%)
③少し楽しかった 少し役に立った (17名 8%) ④あまり楽しくなかった 役に立たなかった (0名 0%)

○「とても楽しかった・楽しかった」を合わせると90%を超えている。成果として考えられるのは、出前授業で博物館の資料を持ち込んだり、活用したりしたので、児童が千葉市の歴史や文化に実感を持って関心を持つことができるようになり、出前授業後に学級で自主的に調べ活動に取り組んだり、当館を見学するために親子で当館を訪れる児童の姿が複数見られた。

(3) 教師の感想 (授業後の教師のアンケート調査より)

- 児童が付箋紙に自分の意見を書く時に、自分で資料を見て、こうじゃないかなと考えたり、話し合ったりする児童の姿を見て、社会科という教科をあらためて面白いなと思いました。
- 子供たちにとって興味関心を高める色々な資料が用意されていて、新鮮で意欲がわくととても良い学習の時間となりました。来年度もぜひお願いしたいと思いました。
- 多くの資料の準備や資料の提示の仕方等、教師としての指導法についても、学びのある内容でした。
- 体感できる教材を準備していただき、実感を持って考える時間を授業の中で与えていただいたので、今後の学習に大いに生きると思います。

(4) 児童の感想 (授業後の児童のふいかえりより)

◆青木昆陽について

- 私はさつまいもについてこんな長い歴史があったと初めて知ることができて、うれしかったです。
- ペープサートで昆陽さんの演技をしたのが、とても楽しくて、わかりやすかったです。

◆染谷源右衛門について

- 千葉県立体模型を使って水害実験をしたり、自分で考える資料も多くあり、普通の社会科では味わえない学習で、すごく楽しかった。
- 私は考えるのが苦手だけれど、今日の学習で資料を使って考えるのが少し好きになりました。
- この学習を通して、源右衛門さんは私たちの生活も救ったすごい人だということを知って、自分が物知りになった気がしました。

◆令和元年度の台風被害について

- 日本は災害大国ということを知って、何か対策をして、いつ災害が起きても大丈夫なようにしたいです。
- 災害には、もののじゅんぴだけではなく、しっかりと情報の準備もしておきたいです。

◆昔の道具について

- 行灯に火をつけて蛍光灯を消した時はドキドキしたけれど、とても楽しくて、行灯がきれいでした。
- 今では思いつかないほどのいろいろな形や工夫や努力があって、昔の人々の知恵にとってもおどろきました。
- 昔の道具もいっぱい良い所があって、昔の道具があったから今の道具があるのだなと思いました。

3 出前授業の実施後の分析

(1) 申し込み学校の地域分布の傾向 (申し込み学校数 11校)

	花見川区	稲毛区	美浜区	中央区	若葉区	緑区	合計学校数
令和3年度	1校	1校	2校	0	3校	0	7校
令和4年度	3校	2校	1校	1校	2校	2校	11校

- 本年度は、千葉市の6つの**全ての行政区から申込みを受ける**ことができた。
- 昨年度に比べ申し込み学校の地域分布が、**千葉市全体へと広がっていた**。

(2) 申し込み学年の傾向 (申し込み学年数 20学年)

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計学年数
令和3年度	5学年	5学年	0	1学年	11学年
令和4年度	11学年	5学年	0	3学年	20学年

- 本年度は全ての学年の申し込みがあった。特に中学年の**3年4年での申し込みが多い**。3年は千葉市の地理や歴史の学習、4年は千葉市や千葉県の人物や産業等の地域学習が主な内容なので、千葉市や千葉県の地域学習が多い3年4年の申し込みが多かったと考えられる。

(3) 申し込み学校での**累積学級数の傾向** (授業実施学級数 43学級)

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計学年数
令和3年度	12学級	13学級	0	0	25学級
令和4年度	29学級	9学級	0	3学級	40学級

○授業実施学級数の傾向は、特に3年生が全体の約3分の2である。千葉市全体の3学年学級数の262学級(千葉市HP発表数)と比べると、**千葉市全体の3年生の約11%(およそ10学級に1つ)**の学級が当館の3年生の出前授業に参加したことになった。この数値は、本年度の大きな成果であった。

(4) **出前授業累積参加児童数** (参加児童数 1051名)

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計学年数
令和3年度	359名	374名	0	0	733名
令和4年度	771名	224名	0	50名	1045名

①授業申し込み学校数や申し込み題材数が増えた結果、出前授業に参加した**児童の累積数は昨年度より大幅に増加して1045人**となり、本年度の参加児童数が初めて1000人を超え、昨年度より312名増加した。

②特に3年生と6年生の授業参加児童数が増えた。特に3年生の児童数は大きく増えて、倍増した。

特に3年生は、**千葉市全体の3年生児童数7397名(千葉市HP発表数)と比べると、その約10%(10人に1人)**の児童が当館の3年生出前授業に参加したことになる。これも大きな成果であった。

③逆に4年生の参加児童数は減った。4年生の申し込み題材数が減少した結果だと考えられる。来年度は学校の要望にそった体制で、さらに検討を行っていきたいと考えている。

④当館の出前授業は、本年度当初に授業プログラムを5年生1つと6年生1つ追加した。その結果、6年生の申し込み数あり、本年度は**初めて6年生の出前授業を行うことができた**。

(5) **月別の出前授業実施授業日数** (年間合計 20日)

○昨年度の授業実施日数は11日間であったが、本年度は授業申し込みが大きく増えたことにより、**実施日数は20日間に増えた**。9月以降は月に2日から3日の授業日の予定が継続的に続き、千葉市の様々な地域の学校を訪問して、多くの授業を行うことができた。

(6) 令和4年度の**新規申し込みの学校**と、令和3年・4年度の**連続申し込みの学校**の傾向

①本年度は、新規申し込み学校数が多かったのが特徴であり、11校中8校あった。

当館の出前授業が本格始動2年目を迎え、千葉市内の学校でも認知度が徐々に高まってきたと考えられる。来年度もさらに現場に受け入れられよう、授業を工夫して取り組みを行っていききたい。

②当館の出前授業は令和2年度から始まっているが、本年度は一昨年や昨年から連続して申し込んでいただいた学校数も増えてきた。 ○**3年連続申し込み 1校** ○**2年連続申し込み 2校**

学校内での引継ぎの結果、申し込んでいただけたのではないかと考えられる。

(7) **出前授業の申し込み題材とその実施傾向** (HP公開している題材数は12つ)

題材名	R3実施学級数	R4実施学級数	R4参加児童数	R4参加児童比率
○埋め立てのこと(歴史3年)	0	1	22名	2%
○昔の道具(歴史3年)	9	19	517名	50%
○台風被害(歴史4年)	3	4	98名	9%
○染谷源右衛門(人物4年)	6	9	139名	13%
○青木昆陽(人物4年)	3	8	219名	21%
○千葉常胤(歴史6年)	0	1	25名	2%
○鎌倉武士の戦い方(歴史6年)	0	1	25名	2%

○1番多いのが、**3学年「昔の道具」**の題材で、全体の約50%であった。次に多いのが**4学年「青木昆陽」**の題材で、全体の約21%であった。

- その理由として考えられるのは、「昔の道具」の教師のアンケートからは、『郷土博物館にある本物の昔の道具をたくさんさわったり、行灯に実際に火を灯して昔の明かり体験をしたりしたのがとても良かった』という感想が多かった。実際に博物館の収蔵庫にある昔の道具を学校に持ち込み、体験的活動を多く取り入れた授業が児童の興味関心を大いに高め、教師自身にも貴重な体験となったようだ。博物館の特色を生かした授業をすることができたと考えられる。
- 「青木昆陽」の題材は、本年度は3年の総合的な学習での申し込みであった。市内の小学校では青木昆陽を総合的な学習の題材として取り上げている学校が多く、その要望にあった結果であったと考えられる。本年度当館でも「青木昆陽」を企画展のテーマとして取り上げたので、博物館の展示活動と関連させながら授業展開ができたのはとても良かった。
- 4年「令和元年の台風被害」の題材は、社会科副読本で取り上げているのは東日本大震災だが、4年生の生まれる前の出来事なので子供たちにはどうしても馴染みが薄い。そこで、令和元年に千葉市を襲った2つの大きな台風被害を防災教育の題材として取り上げた。その結果、ハザードマップの見方についても、実感を持って学習することができた。
- 4年「染谷源右衛門」の題材は4年生の人物学習として広く行われているが、資料をそろえたり、授業構成を組み立てたりするのに手間がかかる難しい題材である。今年度も、印旛沼の立体模型を使って実際に水を流して擬似水害を見てもらいながら学習したので、水害という災害をイメージしながら考える学習ができたと考えられる。
- 6年「鎌倉時代の武士の戦い方」では、本年度当館の甲冑を学校に持ち込んで児童に実際にさわってもらったり、兜を被ってもらったりして、体験的な学習を中心とした鎌倉時代の武士の戦い方を考える学習を実施した。児童は、甲冑がかなり重いこと、馬に乗りながら弓矢を操作することの難しさ等を実感して、鎌倉時代当時の武士の戦い方の実像を理解することができたので、歴史学習に対する興味関心を大いに高めることができた。